

年 表

アジア連帯委員会 / 年表

2001年 (平成13年)	1月11日	2001年訪タイチームを派遣(～18日)。チームは労働社会福祉省で救援衣類等の贈呈式、地方の貧しい人達に対する職業訓練の実習を見学。北部チェンマイ、パヤオ、ランパン各県を訪れ福祉施設等を見学し、衣類・自転車・眼鏡・文房具等を贈呈。
	2月26日	事務局を江東区森下から新宿区新宿に移転(～27日)。
	4月3日	ラオス・ビエンチャン県ナラオ村に建設した11番目の小学校引き渡し式に代表団を派遣(～10日)。7番目の学校であるポンサイ村小学校を視察。熊本/ラオス友好協会支援の高等学校寮も見学。
	4月30日	同日現在、日本定住難民はベトナム8,144人、ラオス1,306人、カンボジア1,278人の計10,728人。
	6月20日	国連が「難民の日」を定める。
	7月31日	2001年度実施した学校建設募金1,338,425円、輸送募金4,469,632円を集約。
2002年 (平成14年)	9月13日	連合中央執行委員会で「愛のカンパ」から3,000万円を受領。引き続き毎年継続してカンパ金を受領している。
	9月30日	第21回定期総会を池之端文化センターで開催。副会長に伊藤祐禎氏を選出、事務所移転とタイ国・ラオス国の連絡事務所開設に伴い規約を一部改正。創立20周年記念講演・祝賀会を開催。
	10月	第18次「救援衣類を送る運動」で115.5トンを集約、タイ労働社会福祉省に106トン、ラオス保健省に9.5トンを送付。
	1月10日	2002年訪タイチームを派遣(～17日)。チームは労働社会福祉省で救援衣類等の贈呈式。中部スパンブリ、ウタイタニ両県で定住センター・福祉センター等を訪問して衣類・文房具・運動用品等を贈る。国連難民高等弁務官事務所でミャンマー難民キャンプの状況とCSAの新しい支援について意見交換。
2003年 (平成15年)	4月16日	ラオス・ルアンプラバン県トンパンピライ村に建設した12番目の小学校引き渡し式に代表団を派遣(～23日)。併せてホアナ村の8番目の小学校と、CSAが遠隔地高校生を支援するルアンプラバン市内のサンティパーブ高校を訪問。
	4月18日	ラオス・ブンニャン首相から学校校舎建設の貢献に対して開発勲章と表彰状が授与される。
	4月27日	メーデーで連合が初めて開催した労組とNGO/NPOが連携するテント村に出展。
	7月31日	学校建設募金3,047,141円、輸送募金4,918,708円を集約。同日現在、日本定住難民はベトナム8,251人、ラオス1,306人、カンボジア1,311人の計10,868人。
	9月29日	第22回定期総会を全郵政会館で開催。
	10月	第19次救援衣類を送る運動で126.5トンを集約、タイ社会開発安全省に117.7トン、ラオス保健省に8.8トンを送付。
	12月8日	遠隔地高校生支援事業としてラオスのサンティパーブ高校の寮が完成し引き渡し。入寮第1期生は25名。

アジア連帯委員会 / 年表

2003年 (平成15年)	1月9日	2003年訪タイチームを派遣(～16日)。チームは社会開発安全省で救援衣類等の贈呈式。東北部ウボンラチャタニ、シサケート、マハサラカム各県で母子療養ホーム・定住福祉センター・職業訓練センター・老人ホームを訪れ、衣類・文房具等を贈る。
	3月25日	ラオス支援小学校建設運動の第13番目校が全郵政九州地本の全面的な支援によりルアンプラバン県コアティヌン村に完成、引き渡し式に代表団を派遣(～30日)。併せて12番目校も見学。
	5月31日	同日現在、日本定住難民はベトナム8,393人、ラオス1,306人、カンボジア1,322人の計11,021人。
	7月31日	学校建設募金7,311,990円、輸送募金5,653,732円を集約。
	9月28日	第23回定期総会を全郵政会館で開催。三役が交代し新会長に伊藤祐禎・副会長に打田照純・事務局長に石崎昭夫の各氏が就任。
2004年 (平成16年)	10月	第20次救援衣類を送る運動、タイに衣類134トンとノート27トン、ラオスに衣類15.2トンを送付。
	1月8日	タイ訪問団を派遣(～15日)。ウッタラテッド、カンパンペット、ピサヌローク各県の山岳民族の小学校、自助定住地の施設等を訪問し衣類等を手渡す。
	3月13日	ラオス訪問団を派遣(～20日)。団はビエンチャン自治区シェン・レーナー村に全郵政東京地本の資金寄贈により建設された第14番目の小学校を引き渡し。第4番・13番校を視察・点検。併せてラオスとタイの関係省庁を表敬訪問し意見交換。
2005年 (平成17年)	6月27日	ラオス・カンボジア事業調査団を派遣。ラオスでは第11番・7番・2番校やサンティパーブ高校の点検を行い、カンボジアで他団体による学校建設の状況などを視察。
	7月31日	学校建設募金5,219,252円、輸送募金4,791,277円を集約。
	9月26日	第24回定期総会を全郵政会館で開催。
	10月	第21次救援衣類を送る運動で120.6トンを集約、タイに98.1トン、ラオスに22.5トンを送付。
2005年 (平成17年)	1月4日	ワーキング・スタディー・ツアー(WST)をタイとラオスに派遣(～15日)。タイではチェンマイの山村に衣類を届け、バンコクの倉庫で衣類の仕分けと点検。ラオスのサンティパーブ高校および第13番・9番・11番校を視察。労働省・保健省・教育省などを訪問。
	6月	サンティパーブ高校第1期生が卒業により退寮、卒業生は各地で大学入試に優秀な成績を修める。
	7月18日	タイ・ラオス訪問団を派遣(～22日)。ビエンチャン県パホム村で15番目の小学校を引き渡し。両国の関係省で衣類支援に関する打ち合わせや遠隔地高校生支援事業の契約更新などを行う。
	7月31日	輸送募金4,420,931円、学校建設募金1,039,615円、高校生支援募金727,015円を集約。
	9月	ラオスの初等教育改善事業の一環としてCSAの支援で作成された小学生用教科書・幼稚園教師用指導書18,100冊の使用が始まる。第25回定期総会を全郵政会館で開催。打田副会長が退任。

アジア連帯委員会 / 年表

2005年 (平成17年)	10月	第22次救援衣類を送る運動で113トンを集約、タイに80.9トン、ラオスに22.4トンを送付。
2006年 (平成18年)	1月9日	WSTをラオスとタイに派遣(～17日)。ラオスではCSA校への救援衣類の引き渡しと点検、8番目校や新たな学校建設予定地の視察など。タイでは社会開発福祉省倉庫やカンチャナブリ県などの施設視察と衣類引き渡し。
	7月4日	CSA事業視察調査団を派遣(～9日)。ラオスのビエンチャン県ナコン村にセントラル硝子労組の資金提供で建設された第16番目小学校の引き渡し。保健・教育・労働各省で新規事業などの調整。タイ福祉省で救援衣類の管理状況を点検。
	7月31日	輸送募金4,367,753円、学校建設募金5,609,754円、高校生支援募金1,301,196円を集約。
	10月1日	第26回定期総会を全郵政会館で開く。併せて創立25周年記念講演・祝賀会を開催。
	10月	第23次救援衣類を送る運動で133.05トンを集約、タイに95.76トン、ラオスに37.29トンを送付。
	10月8日	タイ・ラオス事業監査団を派遣(～13日)。関係省庁大臣等と会談。ビエンチャン県ターファ村に建設した第17番目小学校の引き渡し。
2007年 (平成19年)	1月18日	WSTをタイ・ラオスに派遣(～26日)。タイで社会開発・福祉局による各種支援センター等を訪問。ラオスではCSAが建設した五つの小学校や高校寮の視察と関係省を訪問。
	4月	サンティパーブ高校第1期卒業生1名が初の日本留学。
	7月16日	石崎事務局長がタイ・ラオスを訪れ事業監査(～21日)。ラオスのビエンチャン県ムアンソン村の第18番目小学校を引き渡し。サンティパーブ高校で退寮式。なお、2008年以降は退寮式に替え卒業記念品を贈呈している。
	7月31日	輸送募金4,370,818円、学校建設募金748,068円、高校生支援募金1,879,488円を集約。
	9月30日	第27回定期総会を全郵政会館で開催。長石春彦氏が新事務局長に、石崎前事務局長は副会長に就任。
	10月	第24次救援衣類を送る運動で135トンを集約、タイに87トン、ラオスに48トンを送付。
	12月6日	伊藤祐禎会長が逝去。
2008年 (平成20年)	1月9日	WSTをラオス・タイに派遣(～18日)。CSA建設小学校や関係省・施設訪問を通じて救援衣類の配布状況、教育支援等の実態調査、衣類等の贈呈を行う。
	3月1日	アジア福祉教育財団難民事業本部による「日本における難民条約発効25周年」記念シンポジウムが開かれ、CSA常任理事の新岡史浩(ラオス名シンカムタン・レック)氏がパネリストに。
	7月31日	輸送募金4,724,121円、学校建設募金534,710円、高校生支援募金828,746円を集約。

アジア連帯委員会 / 年表

2008年 (平成20年)	9月26日	第28回定期総会を連合本部会議室で開催。大木明石会長を選出、石崎副会長は退任。
	10月	第25次救援衣類を送る運動で198トンを集約、タイに140トン、ラオスに58トンを送付。
2009年 (平成21年)	1月14日	WSTをラオス・タイに派遣(～22日)。両国で救援衣類の配布状況を調査、ラオスでの教育支援活動を視察、既存校を訪問。
	3月29日	日本在住ベトナム人協会主催の「ベトナム建国記念日祝賀交流会」開催。4月12日には在日ラオス協会やラオス大使館共催の「新年祝賀会」が開かれる。毎年催されるこの種行事には会長・事務局長等が出席するなど日本定住者団体との交流を続けている。
	4月	サンティパーブ高校卒業生2名が日本に留学、卒業日本留学生が4名となる。2011年現在では8名に。
	6月30日	ラオス・タイ事業監査団を派遣(～7日)。ラオス・ビエンチャン県ターディンタイ村に建設した第19番目小学校を引き渡し。両国関係省等との打ち合わせ。
	7月31日	輸送募金5,736,750円、学校建設募金950,530円、高校生支援募金728,256円を集約。
	8月28日	事務局を新宿区新宿から港区芝に移転。
	9月26日	第29回定期総会を興和三田ビル会議室で開催。
	10月	第26次救援衣類を送る運動で207トンを集約、タイに142トン、ラオスに65トンを送付。
2010年 (平成22年)	1月9日	WSTをラオス・タイに派遣(～19日)。両国で救援衣類の配布状況を調査。ラオスで教育支援活動の視察とボケオ県パーウドム村に建設した第20番目小学校を引き渡し。関係省の訪問。タイで関係省と施設への衣類の贈呈を行う。
	7月23日	ラオス・タイ事業監査団を派遣(～29日)。ラオス・サイニャブリー県ムアンワー村で第21番目小学校の引き渡し。
	7月31日	輸送募金5,038,813円、学校建設募金639,560円、高校生支援募金334,335円を集約。
	9月29日	第30回定期総会を連合本部会議室で開催。新たな運動構築に向けて規約を改正、従来の団体加盟に加えて個人会員制を導入。新しく副会長に吉井眞之(会長代行)・水谷雄二・長石春彦の3氏と事務局長に渡邊ひな子氏を選出。
	10月	第27次救援衣類を送る運動で209トンを集約、タイに150トン、ラオスに59トンを送付。
	11月14日	連合が「愛のキャンパ」海外NGO事業フォローアップ視察団をカンボジア・ラオスに派遣(～21日)。CSAとしてラオス・ルアンプラバンでの小学校1校とサンティパーブ高校寮の視察・交流に同行し協力。
	12月12日	カンボジアへの救援衣類送付に関し、渡邊事務局長がプノンペンで農村開発省と打ち合わせ、配布先候補地を視察(～16日)。

アジア連帯委員会 / 年表

2011年 (平成23年)	1月 8日	WSTをラオスとタイに派遣(～15日)。両国で救援衣類の保管・配布状況を確認。ラオスでCSA小学校2校を点検し文具や運動具を贈ると共に、サンティパーブ高校寮を訪問して寮生達と交流。
	2月20日	J P労組東京地本のラオス調査団を受け入れ(～25日)。団は全郵政東京地本寄贈の第14番目校および同九州地本寄贈の第13番目校、サンティパーブ高校などの訪問や、ラオス郵政労組と交流。
	3月11日	東日本大震災勃発。これに伴い6月に予定していたCSA創立30周年を記念する行事を中止することに。
	3月26日	ラオス・タイ事業監査団(～4月1日)がラオス・サイニャブリー県ナマイ村に建設した第22番目小学校を引き渡し。学校建設関係者や通訳等の方々から東日本大震災被災者に寄付金・メッセージを託される。
	7月31日	輸送募金5,200,733円、学校建設募金424,890(プラス4,770,000)円、高校生支援募金440,725円、年末支援募金225,002円を集約。
	8月26日	カネボウ労組の全面支援によりピエンチャン県パチャオ村に建設した第23番目校引き渡しにラオス訪問団を派遣(～30日)。団はルアンプラバンの高校寮の視察・交流や既存小学校の点検も。
	9月22日 10月	第31回定期総会を連合本部会議室で開催。 第28次救援衣類を送る運動で220トンを集約、タイに121トン、ラオスに84トン、新たにカンボジアにも15トンを送る。

歴代役員名簿・加盟団体一覧

歴代役員名簿

第21回総会(2001年9月)

役職名	氏名	備考
顧問	宇佐美忠信	富士社会教育センター理事長・ 同盟元会長
会長	金杉 秀信	労使関係研究会副会長
副会長	伊藤 祐禎	ILO理事
事務局長	打田 照純	連合前広報室長
事務局次長	香川眞理子	ふきの会
常任理事	ホム・ソンパディ カムサーン・ベンワット ファム・タイン・リン ヴ・ダン・クエ アウ・ミン・ユン 小尾 一女 池田 文子 多田とよ子 片岡 正男 上野 博行 津田 和良 藤川 光男 中野 泰史 大野 靖 藤川 登 山下 文夫 増田 光儀 杉浦 朗 小宮 正也 水川 敏秋 外間 司 豊田 康成 野村 昭典 山田 耕嗣 牧野 芳久 伊藤 仁 遠藤 繁明 山下 信二 松尾 啓史 吉村 徳雄 龍川 茂 佐藤 正行 堀 恒彰 志賀 俊一 村田美代子 中家 幹雄 小林 忠義 福岡 憲夫 守屋 正 林 克之 井ノ口 登 平松 忠男 鈴木 匡 津久田昌浩 浦 和彦 岡崎 秀和 横田 康博 伊藤 正 金内 惟行 出納 克彦 佐藤 謙二 小谷 彰彦	在日ラオス協会会長 在日ラオス協会幹事長 日本在住ベトナム人協会会長代行 日本在住ベトナム人協会渉外部長 日本在住ベトナム人協会常任理事 日本民主婦人の会 日本人妻自由往来実現運動の会 ふきの会 連合 ゼンセン同盟 JAM 造船重機労連 日産労連 電力総連 海員組合 交通労連 全郵政 CSG連合 国税労組 三菱自工労組 航空連合 日林労 建設連合 凸版印刷労組 基金労組 連合東京 ふきの会 JR総連 JR連合 全通 電機連合 地球2001 生保労連 全日空労組 味の素労組 印刷関連 国税労組 凸版印刷労組 基金労組 JR総連 JR連合 働郵愛 日教組 働プラスワンスタジオ 情報労連 自治労 全国ガス 富士社会教育センター 自動車総連 安田生命 セントラル硝子労組 全郵政関東地本 全郵政東京地本 中央労福協 スリーハズ働 全労済 小谷 彰彦 西澤昇治郎 酒井 栄一 鈴木 章一
監事	鈴木 博文 北條 仁	CSG連合 日産労連

第22回総会(2002年9月)

役職名	氏名	備考
顧問	宇佐美忠信	富士社会教育センター理事長・ 同盟元会長
会長	金杉 秀信	労使関係研究会副会長
副会長	伊藤 祐禎	ILO理事
事務局長	打田 照純	連合前広報室長
事務局次長	香川眞理子	ふきの会
常任理事	ホム・ソンパディ カムサーン・ベンワット ファム・タイン・リン ヴ・ダン・クエ アウ・ミン・ユン 池田 文子 多田とよ子 片岡 正男 上野 博行 津田 和良 小池 和春 中野 泰史 大野 靖 藤川 登 山下 文夫 増田 光儀 杉浦 朗 水川 敏秋 外間 司 豊田 康成 野村 昭典 浜野 輝夫 遠藤 繁明 吉村 徳雄 龍川 茂 佐藤 正行 堀 恒彰 志賀 俊一 村田美代子 中家 幹雄 小宮 正也 山田 耕嗣 牧野 芳久 秋田 広美 松尾 啓史 小林 忠義 福岡 憲夫 守屋 正 林 克之 井ノ口 登 平松 忠夫 鈴木 匡 津久田昌浩 浦 和彦 岡崎 秀和 横田 康博 伊藤 正 金内 惟行 出納 克彦 加藤 洋 小谷 彰彦 西澤昇治郎 酒井 栄一 鈴木 章一	在日ラオス協会会長 在日ラオス協会事務局長 日本在住ベトナム人協会会長代行 日本在住ベトナム人協会渉外部長 日本在住ベトナム人協会常任理事 日本人妻自由往来実現運動の会 ふきの会 連合 ゼンセン同盟 JAM 造船重機労連 日産労連 電力総連 海員組合 交通労連 全郵政 CSG連合 三菱自工労組 航空連合 日林労 建設連合 連合東京 ふきの会 全通 電機連合 地球2001 生保労連 全日空労組 味の素労組 印刷関連 国税労組 凸版印刷労組 基金労組 JR総連 JR連合 働郵愛 日教組 働プラスワンスタジオ 情報労連 自治労 全国ガス (財)富士社会教育センター 自動車総連 安田生命 セントラル硝子労組 全郵政関東地本 全郵政東京地本 中央労福協 スリーハズ働 全労済 損保労連 石川島播磨重工労組 全郵政九州地本 東京交通労組

役職名	氏名	備考
監事	鈴木 博文 北條 仁	CSG連合 日産労連

第23回総会(2003年9月)

役職名	氏名	備考
顧問	宇佐美忠信	富士社会教育センター理事長・ 同盟元会長
会長	金杉 秀信	前会長・造船重機労連元委員長
副会長	伊藤 祐禎	ILO理事
事務局長	打田 照純	連合元広報室長
事務局次長	石崎 昭夫	連合前財政局長
常任理事	香川眞理子 ホム・ソンパディ カムサーン・ベンワット ファム・タイン・リン ヴ・ダン・クエ アウ・ミン・ユン 池田 文子 多田とよ子 片岡 正男 上野 博行 津田 和良 小池 和春 中野 泰史 大野 靖 藤川 登 山下 文夫 増田 光儀 杉浦 朗 水川 敏秋 外間 司 豊田 康成 野村 昭典 浜野 輝夫 遠藤 繁明 吉村 徳雄 龍川 茂 佐藤 正行 堀 恒彰 志賀 俊一 村田美代子 中家 幹雄 小宮 正也 山田 耕嗣 牧野 芳久 伊藤 格 遠藤 繁明 秋田 広美 松尾 啓史 小林 忠義 福岡 憲夫 守屋 正 林 克之 井ノ口 登 平松 忠男 鈴木 匡 津久田昌浩 浦 和彦 岡崎 秀和 横田 康博 伊藤 正 金内 惟行 出納 克彦 加藤 洋 小谷 彰彦 西澤昇治郎 酒井 栄一 鈴木 章一	在日ラオス協会会長 在日ラオス協会幹事長 日本在住ベトナム人協会会長代行 日本在住ベトナム人協会渉外部長 日本在住ベトナム人協会常任理事 日本人妻自由往来実現運動の会 ふきの会 連合 ゼンセン同盟 JAM 造船重機労連 日産労連 電力総連 海員組合 交通労連 全郵政 CSG連合 三菱自工労組 航空連合 日林労 建設連合 連合東京 ふきの会 全通 電機連合 地球2001 生保労連 全日空労組 味の素労組 印刷関連 国税労組 凸版印刷労組 基金労組 JR総連 JR連合 働郵愛 日教組 働プラスワンスタジオ 情報労連 自治労 全国ガス (財)富士社会教育センター 自動車総連 安田生命 セントラル硝子労組 全郵政関東地本 全郵政東京地本 中央労福協 スリーハズ働 全労済 損保労連 石川島播磨重工労組 全郵政九州地本 東京交通労組

役職名	氏名	備考
監事	出納 克彦 加藤 洋 佐々木篤史 西澤昇治郎 酒井 栄一 鈴木 章一 鈴木 博文 野治 稔	ブレイブ・ハーツ・ネットワーク 全労済 損保労連 石川島播磨重工労組 全郵政九州地本 東京交通労組 UIゼンセン同盟 日産労連

第24回総会(2004年9月)

役職名	氏名	備考
顧問	宇佐美忠信	富士社会教育センター理事長・ 同盟元会長
会長	金杉 秀信	前会長・造船重機労連元委員長
副会長	伊藤 祐禎	ILO理事
事務局長	打田 照純	連合元広報室長
事務局次長	石崎 昭夫	連合前財政局長
常任理事	香川眞理子 ホム・ソンパディ カムサーン・ベンワット ファム・タイン・リン ヴ・ダン・クエ アウ・ミン・ユン 池田 文子 多田とよ子 片岡 正男 上野 博行 津田 和良 小池 和春 中野 泰史 大野 靖 藤川 登 山下 文夫 増田 光儀 杉浦 朗 小宮 正也 水川 敏秋 外間 司 豊田 康成 野村 昭典 山田 耕嗣 牧野 芳久 伊藤 仁 遠藤 繁明 山下 信二 松尾 啓史 吉村 徳雄 龍川 茂 佐藤 正行 堀 恒彰 志賀 俊一 村田美代子 中家 幹雄 小宮 正也 山田 耕嗣 牧野 芳久 秋田 広美 松尾 啓史 小林 忠義 福岡 憲夫 守屋 正 林 克之 井ノ口 登 平松 忠男 鈴木 匡 津久田昌浩 浦 和彦 岡崎 秀和 横田 康博 伊藤 正 金内 惟行 出納 克彦 加藤 洋 小谷 彰彦 西澤昇治郎 酒井 栄一 鈴木 章一	在日ラオス協会会長 在日ラオス協会幹事長 日本在住ベトナム人協会会長代行 日本在住ベトナム人協会渉外部長 日本在住ベトナム人協会常任理事 日本人妻自由往来実現運動の会 ふきの会 連合 ゼンセン同盟 JAM 造船重機労連 日産労連 電力総連 海員組合 交通労連 全郵政 CSG連合 三菱自工労組 航空連合 日林労 建設連合 連合東京 ふきの会 全通 電機連合 地球2001 生保労連 全日空労組 味の素労組 印刷関連 国税労組 凸版印刷労組 基金労組 JR総連 JR連合 働郵愛 日教組 働プラスワンスタジオ 情報労連 自治労 全国ガス (財)富士社会教育センター 自動車総連 安田生命 セントラル硝子労組 全郵政関東地本 全郵政東京地本 中央労福協 スリーハズ働 全労済 損保労連 石川島播磨重工労組 全郵政九州地本 東京交通労組

歴代役員名簿

役職名	氏名	備考
監事	鈴木 匡	(財)富士社会教育センター
	高橋 正典	自動車総連
	溝口 喜之	明治安田生命
	岡崎 秀和	セントラル硝子労組
	清水 哲夫	全郵政関東地本
	安達 正美	全郵政東京地本
	出納 克彦	ブレイブ・ハーツ・ネットワーク
	加藤 洋	全労済
	佐々木篤史	損保労連
	西澤昇治郎	全石川島播磨重工労組
	酒井 栄一	全郵政九州地本
	新井 勇吉	東京交通労組
	古後 健一	都市交
	吉村 利雄	印刷労連
	鈴木 博文	U Iゼンセン同盟
	野治 稔	日産労連

第25回総会(2005年10月)

役職名	氏名	備考
顧問	宇佐美忠信	富士社会教育センター理事長
会長	金杉 秀信	造船重機労連元委員長
	伊藤 祐禎	I L O元理事
事務局長	石崎 昭夫	連合前財政局長
	チャンタビヤ・カムデン	在日ラオス協会会長
常任理事	ファミ・タイン・リン	日本在住ベトナム人協会会長代行
	ヴ・ダン・クエ	日本在住ベトナム人協会渉外部長
	アウ・ミン・ユン	日本在住ベトナム人協会常任理事
	池田 文子	日本人妻自由往来実現運動の会
	林 道寛	連合
	池田 晴夫	U Iゼンセン同盟
	村岡 伸江	J A M
	船木 孝治	基幹労連
	二木 栄一	日産労連
	松田原昌輝	電力総連
	山口 守	海員組合
	鎌田 佳伸	交通労連
	定光 克之	全郵政
	永田 知幸	国税労組
	水川 敏秋	三菱自工労組
	宮良用一郎	航空連合
	豊田 康成	日林労
	曾根崎義治	建設連合
	山田 耕嗣	凸版印刷労組
	牧野 芳久	基金労組
	渡辺 一保	連合東京
	山下 信二	J R総連
	角田 修作	J R連合
	増田 吉行	J P U
	片岡 武夫	電機連合
	佐藤 正行	地球2001
	高橋 達也	生保労連
	松岡 宏治	全日空労組
	廣嶋 将	味の素労組
	平山 猛	印刷関連
	横田 康博	(株)郵愛
	福岡 憲夫	日教組
	野口 達	情報労連
	井ノ口 登	自治労

役職名	氏名	備考
監事	宮原 裕二	全国ガス
	鈴木 匡	(財)富士社会教育センター
	高橋 正典	自動車総連
	溝口 喜之	明治安田生命
	岡崎 秀和	セントラル硝子労組
	清水 哲夫	全郵政関東地本
	安達 正美	全郵政東京地本
	高野 智	全労済
	早川 貴之	損保労連
	沢田 和男	全石川島播磨重工労組
	酒井 栄一	全郵政九州地本
	新井 勇吉	東京交通労組
	古後 健一	都市交
	吉村 利雄	印刷労連
	鈴木 博文	U Iゼンセン同盟
	野治 稔	日産労連

第26回総会(2006年10月)

役職名	氏名	備考
顧問	宇佐美忠信	富士社会教育センター理事長
会長	金杉 秀信	造船重機労連元委員長
	打田 照純	連合元広報室長
事務局長	伊藤 祐禎	I L O元理事
	石崎 昭夫	連合前財政局長
常任理事	チャンタビヤ・カムデン	在日ラオス協会会長
	ファミ・タイン・リン	日本在住ベトナム人協会会長代行
	ヴ・ダン・クエ	日本在住ベトナム人協会渉外部長
	アウ・ミン・ユン	日本在住ベトナム人協会常任理事
	池田 文子	日本人妻自由往来実現運動の会
	大塚 敏夫	連合
	池田 晴夫	U Iゼンセン同盟
	村岡 伸江	J A M
	船木 孝治	基幹労連
	二木 栄一	日産労連
	松田原昌輝	電力総連
	山口 守	海員組合
	鎌田 佳伸	交通労連
	定光 克之	全郵政
	永田 知幸	国税労組
	水川 敏秋	三菱自工労組
	宮良用一郎	航空連合
	近 勝	日林友愛
	曾根崎義治	建設連合
	山田 耕嗣	凸版印刷労組
	牧野 芳久	基金労組
	渡辺 一保	連合東京
	山下 信二	J R総連
	角田 修作	J R連合
	佐々木 貢	J P U
	高濱 昌之	電機連合
	佐藤 正行	地球2001
	高橋 達也	生保労連
	丸山 隆富	全日空労組
	廣嶋 将	味の素労組
	平山 猛	印刷関連
	横田 康博	(株)郵愛
	福岡 憲夫	日教組
	城戸 正巳	情報労連

役職名	氏名	備考
監事	井ノ口 登	自治労
	伊豆 利男	全国ガス
	鈴木 匡	(財)富士社会教育センター
	森腰 敏弘	自動車総連
	中野 友仁	明治安田生命
	岡崎 秀和	セントラル硝子労組
	國吉 深	全郵政関東地本
	渡辺 聡	全郵政東京地本
	高野 智	全労済
	早川 貴之	損保労連
	沢田 和男	全石川島播磨重工労組
	酒井 栄一	全郵政九州地本
	新井 勇吉	東京交通労組
	和多田 博	都市交
	吉村 利雄	印刷労連
	近藤 照恭	日本医療事務センター労組
	岡野 文昭	連合茨城
斎藤 敏郎	住友重機労連	
渡邊 和夫	フード連合	
池田 晴夫	U Iゼンセン同盟	
野路 稔	日産労連	

第27回総会(2007年9月)

役職名	氏名	備考
顧問	宇佐美忠信	富士社会教育センター理事長
会長	金杉 秀信	造船重機労連元委員長
	伊藤 祐禎	I L O元理事
事務局長	石崎 昭夫	連合元秘書室長
	長石 春彦	連合前秘書室長
常任理事	新岡 史浩	在日ラオス協会会長
	ファミ・タイン・リン	日本在住ベトナム人協会会長代行
	池田 文子	日本人妻自由往来実現運動の会
	大塚 敏夫	連合
	滝澤 八千子	U Iゼンセン同盟
	村岡 伸江	J A M
	濱淵 正幸	基幹労連
	堀 紀子	日産労連
	太田 一則	電力総連
	小林 大介	海員組合
	鎌田 佳伸	交通労連
	定光 克之	全郵政
	永田 知幸	国税労組
	市瀬 義信	三菱自工労組
	宮良用一郎	航空連合
	近 勝	日林友愛
	栗田 明	建設連合
	三代瀬誠宏	凸版印刷労組
	長谷部 学	基金労組
	須永 謙治	連合東京
	伊藤 憲治	J R総連
	角田 修作	J R連合
	佐々木 貢	J P U
	高濱 昌之	電機連合
	佐藤 正行	地球2001
	金田 雅之	生保労連
	丸山 隆富	全日空労組
	廣嶋 将	味の素労組
	福島 良和	印刷関連

役職名	氏名	備考
監事	横田 康博	(株)郵愛
	福岡 憲夫	日教組
	城戸 正巳	情報労連
	井ノ口 登	自治労
	伊豆 利男	全国ガス
	川上 悠	(財)富士社会教育センター
	森腰 敏弘	自動車総連
	溝口 喜之	明治安田生命
	石田 義弘	セントラル硝子労組
	國吉 深	全郵政関東地本
	渡辺 聡	全郵政東京地本
	高野 智	全労済
	山崎 寿文	損保労連
	田中 英昭	I H I労組連合会
	酒井 栄一	全郵政九州地本
	石山 康夫	東京交通労組
	和多田 博	都市交
吉村 利雄	印刷労連	
近藤 照恭	日本医療事務センター労組	
日下部好美	連合茨城	
越野 隆義	住友重機労連	
渡邊 和夫	フード連合	
池田 晴夫	U Iゼンセン同盟	
野路 稔	日産労連	

第28回総会(2008年9月)

役職名	氏名	備考
顧問	宇佐美忠信	富士社会教育センター理事長
会長	金杉 秀信	造船重機労連元委員長
	大木 明石	連合元副会長
事務局長	長石 春彦	連合前秘書室長
	新岡 史浩	在日ラオス協会会長
常任理事	ファミ・タイン・リン	日本在住ベトナム人協会会長代行
	磯部 行雄	連合
	小室 隆行	日本郵政グループ労組
	池田 文子	日本人妻自由往来実現運動の会
	井ノ口 登	自治労
	滝澤 八千子	U Iゼンセン同盟
	村岡 伸江	J A M
	濱淵 正幸	基幹労連
	堀 紀子	日産労連
	太田 一則	電力総連
	小林 大介	海員組合
	鎌田 佳伸	交通労連
	大場 栄助	国税労組
	市瀬 義信	三菱自工労組
	宮良用一郎	航空連合
	近 勝	日林友愛
	栗田 明	建設連合
	三代瀬誠宏	凸版印刷労組
	長谷部 学	基金労組
	角田 修作	J R連合
	伊藤 憲治	J R総連
	高濱 昌之	電機連合
	佐藤 正行	地球2001
	金田 雅之	生保労連
	丸山 隆富	全日空労組
	廣嶋 将	味の素労組
	鶴飼 佳晃	味の素労組

歴代役員名簿

役職名	氏名	備考
	吉村 利雄	印刷労連
	富塚 由三	(株)郵愛
	福岡 憲夫	日教組
	城戸 政己	情報労連
	植田 正知	フード連合
	伊豆 利男	全国ガス
	川上 恕	(財)富士社会教育センター
	森腰 敏弘	自動車総連
	溝口 喜之	明治安田生命
	石田 義弘	セントラル硝子労組
	近藤 照恭	日本医療事務センター労組
	高野 智	全労済
	山崎 寿文	損保労連
	山中 隆弘	三菱重工労組
	越野 隆義	住友重機労連
	田中 英昭	全石川島播磨重工労組
	和多田 博	都市交
	石山 康夫	東京交通労組
	杉浦 賢次	連合東京
	日下部好美	連合茨城
	福島 良和	印刷労連
監事	池田 晴夫	U I ゼンセン同盟
	野治 稔	日産労連

第29回総会(2009年9月)

役職名	氏名	備考
顧問	宇佐美忠信	富士社会教育センター理事長
会長	金杉 秀信	造船重機労連元委員長
事務局長	大木 明石	連合元副会長
事務局次長	長石 春彦	連合前秘書室長
常任理事	渡邊ひな子	連合元国際局長
	結城ソムブ	在日ラオス協会会長
	ファミ・タン・リン	日本在住ベトナム人協会会長代行
	武山 信一	連合
	中田 正幸	日本郵政グループ労組
	井ノ口 登	自治労
	滝澤八千子	U I ゼンセン同盟
	村岡 伸江	J A M
	東條 義彦	基幹労連
	堀 紀子	日産労連
	城野 正子	電力総連
	小林 大介	海員組合
	鎌田 佳伸	交通労連
	橋口 城二	国税労組
	市瀬 義信	三菱自工労組
	西舘 力	航空連合
	吉田 一道	建設連合
	佐藤 正治	凸版印刷労組
	長谷部 学	基金労組
	坪井 義範	J R 連合
	鎌田 寛司	J R 総連
	高濱 昌之	電機連合
	佐藤 正行	地球2001
	長崎 靖	生保労連
	細川 雅哉	全日空労組
	鶴飼 佳晃	味の素労組
	吉村 利雄	印刷労連
	赤池 浩章	日教組

役職名	氏名	備考
	永井 浩	情報労連
	山本 健二	フード連合
	伊藤 栄	ゴム連合
	井上 邦彦	全国ガス
	水越 信男	(財)富士社会教育センター
	佐藤 信幸	自動車総連
	溝口 喜之	明治安田生命
	石田 義弘	セントラル硝子労組
	近藤 照恭	日本医療事務センター労組
	高野 智	全労済
	久保田 大	損保労連
	工藤 智司	三菱重工労組
	越野 隆義	住友重機労連
	田中 英昭	全石川島播磨重工労組
	浅野喜久夫	都市交
	久保 秀明	東京交通労組
	杉浦 賢次	連合東京
	日下部好美	連合茨城
	服部 光朗	日本労働会館
	山河 博	U I ゼンセン同盟
監事	鮫島 栄造	日産労連

第30回総会(2010年9月)

役職名	氏名	備考
顧問	宇佐美忠信	富士社会教育センター前理事長
会長	金杉 秀信	造船重機労連元委員長
副会長	大木 明石	連合元副会長
	吉井 眞之	連合元副会長
	水谷 雄二	連合組織局総局長
	長石 春彦	連合元秘書室長
事務局長	渡邊ひな子	連合元国際局長
常任理事	坂 貴之	連合
	滝澤八千子	U I ゼンセン同盟
	河野 香	J A M
	東條 義彦	基幹労連
	佐藤 克彦	自治労
	永井 浩	情報労連
	斉藤 千秋	電機連合
	江藤 創平	日教組
	杉浦 賢次	連合東京
評議員	結城ソムブ	在日ラオス協会会長
	ファミ・タン・リン	日本在住ベトナム人協会会長代行
	田中 英昭	I H I 労組連合会
	中井 勇太	味の素労組
	吉村 利雄	印刷労連
	長谷部 学	基金労組
	川田 義明	共済ユニオン
	吉田 一道	建設連合
	米田 尚弘	航空連合
	鎌田 佳伸	交通労連
	橋口 城二	国税労組
	山本 昭二	ゴム連合
	鎌田 寛司	J R 総連
	坪井 義範	J R 連合
	中田 正幸	J P 労組
	佐藤 和弘	自動車総連
	越野 隆義	住友重機労連
	海野 亘	セイノ 通関(株)

役職名	氏名	備考
	長崎 靖	生保労連
	井上 邦彦	全国ガス
	白井 陽一	労金協会
	石田 義弘	セントラル硝子労組
	脇本 依子	全日空労組
	小林 大介	海員組合
	高野 智	全労済
	久保田 大	損保労連
	佐藤 正行	地球2001
	澤田 透	中央放送(株)
	梅村 敏幸	中央ろうきん社会貢献基金
	城野 正子	電力総連
	久保 秀明	東京交通労組
	浅野喜久夫	都市交
	佐藤 正治	凸版印刷労組
	堀 紀子	日産労連
	板倉 裕光	日本医療事務センター労組
	服部 光朗	日本労働会館
	山本 健二	フード連合
	水越 信男	富士社会教育センター
	石田 孝	三菱自工労組
	白田 春雄	三菱重工労組
	溝口 喜之	明治安田生命
	須賀 俊行	U I ゼンセン同盟ルックユニオン
	坏 明弘	連合茨城
	久保田政宏	連合神奈川
	田中 宏和	連合近畿地方ブロック連絡会
監事	山河 博	U I ゼンセン同盟
	鮫島 栄造	日産労連

第31回総会(2011年9月)

役職名	氏名	備考
顧問	宇佐美忠信	富士社会教育センター前理事長
会長	金杉 秀信	造船重機労連元委員長
副会長	大木 明石	連合元副会長
	吉井 眞之	連合元副会長
	山根木晴久	連合組織局総局長
	長石 春彦	連合元秘書室長
事務局長	渡邊ひな子	連合元国際局長
常任理事	坂 貴之	連合
	滝澤八千子	U I ゼンセン同盟
	三瀬 明	J A M
	東條 義彦	基幹労連
	佐藤 克彦	自治労
	永井 浩	情報労連
	斉藤 千秋	電機連合
	江藤 創平	日教組
	杉浦 賢次	連合東京
評議員	結城ソムブ	在日ラオス協会会長
	ファミ・タン・リン	日本在住ベトナム人協会会長代行
	田中 英昭	I H I 労組連合会
	中井 勇太	味の素労組
	吉村 利雄	印刷労連
	瀨村 浩芳	カネボウ労働組合
	長谷部 学	基金労組
	川田 義明	共済ユニオン
	吉田 一道	建設連合
	金子 公亮	航空連合

役職名	氏名	備考
	鎌田 佳伸	交通労連
	松原 弘明	国税労組
	坪井 義範	J R 連合
	西村 智雄	J P 労組
	佐藤 和弘	自動車総連
	越野 隆義	住友重機労連
	海野 亘	セイノ 通関(株)
	磯村 幸紀	生保労連
	馬場 紀仁	全国ガス
	白井 陽一	労金協会
	石田 義弘	セントラル硝子労組
	脇本 依子	全日空労組
	渡部 慶二	海員組合
	高野 智	全労済
	澤木 泰秀	損保労連
	佐藤 正行	地球2001
	澤田 透	中央放送(株)
	梅村 敏幸	中央ろうきん社会貢献基金
	芹田 敦	電力総連
	久保 秀明	東京交通労組
	浅野喜久夫	都市交
	諸原 雄大	凸版印刷労組
	堀 紀子	日産労連
	板倉 裕光	日本医療事務センター労組
	服部 光朗	日本労働会館
	山本 健二	フード連合
	梶原 義則	富士社会教育センター
	石田 孝	三菱自工労組
	白田 春雄	三菱重工労組
	宮崎 泰造	明治安田生命
	須賀 俊行	U I ゼンセン同盟ルックユニオン
	高木 英見	連合茨城
	久保田政宏	連合神奈川
	田中 宏和	連合近畿地方ブロック連絡会
監事	山河 博	U I ゼンセン同盟
	鮫島 栄造	日産労連

アジア連帯委員会 加盟団体一覧

連合	セイノー通関株式会社
UIゼンセン同盟	生保労連
JAM	全国ガス
基幹労連	(社)全国労働金庫協会(労金協会)
自治労	セントラル硝子労組
情報労連	全日空労組
電機連合	全国労働者共済生活協同組合連合会(全労済)
日教組	損保労連
連合東京	地球2001
	中央放送株式会社
在日ラオス協会	中央ろうきん社会貢献基金
日本在住ベトナム人協会	電力総連
IHI労連	東京交通労組
味の素労組	都市交
印刷労連	凸版印刷労組
海員組合	日産労連
カネボウ労組	日本医療事務センター労組
基金労組	(財)日本労働会館
共済ユニオン	フード連合
建設連合	(財)富士社会教育センター
航空連合	三菱自工労組
交通労連	三菱重工労組
国税労組	明治安田生命保険相互会社
JR連合	UIゼンセン同盟ルックユニオン
JP労組	連合茨城
自動車総連	連合神奈川
住友重機労連	連合近畿地方ブロック連絡会

前段9組織は役員選出組織、以下の在日協会以外の組織名は50音順

編集後記

アジア連帯委員会(CSA)が創立30周年を迎えるに当たり、同記念史の出版のほか記念祝賀会・講演会、記念ツアーの派遣を企画していたが、3月11日の東日本大地震のため行事を中止とした。しかし、出版だけは創立20周年に出版された記念史「連帯の20年」の「その後の10年」という形での作成を決定した。

アジア連帯委員会(CSA)は労働組合の難民に寄せる人権支援の歴史である。1981年、同盟は当時の田中書記長を委員長としたインドシナ難民救済活動対策委員会の設置を決め、難民支援に乗り出した。その後、この運動は連合に継承され今日に至っている。これらの記録は創立20周年記念史「連帯の20年」を参考にされたい。

この10年を振り返ってみると、CSAは「継続は力なり」の歴史であり、その中で変化しつつ継続している。救援衣類を送る運動はタイ社会福祉開発省、ラオス保健省、今年からカンボジア農村開発省をカウンターパートとして行われ、またUNHCRとの連携でスタートしたラオスの小学校建設事業は、今やCSA独自でラオス教育省とのタイアップで行っている。

祖国に帰還した難民の支援を中心とする国際NGOとしてのタイ、ラオス、そして2011年からカンボジアが入った3カ国における事業展開は、難民支援時代の活動とは徐々に形を変えてきているが、根底には労働組合によって創設された、労働組合が中心となって支える、支援を必要とする人々に手を差し伸べ、人権を守るためのNGOであることは変わらない。そしてこの「継続」はすべて先輩方の努力の蓄積であり、また多くの方々のご支援の賜物である。

今回の出版に当たり、お祝いのメッセージをいただいた内外の多くの関係者、この30年間、特にこの10年間に様々な形でお世話になった会員の方々や支援者全員に心から感謝の意を表したい。編集に当たっては、全体の監修を担ってくださった打田照純氏、また執筆から写真の選択、年表の作成に至るまでのあらゆる面で一方ならぬお世話に与った重堂安宏氏から献身的なご協力をいただいたこともお礼を申し上げます。

最後に11月にご逝去された故宇佐美忠信 CSA 顧問に長年にわたりご指導いただいたことに感謝の意を表し、ご冥福を祈る。

2011年12月

アジア連帯委員会(CSA)

30年史 編集委員会

編集委員会メンバー

委員長	渡邊 ひな子	アジア連帯委員会事務局長
委員	坂 貴之	連合 総合組織局連帯活動局長
	滝沢 八千子	UI ゼンセン同盟 常任中央執行委員
	斎藤 千秋	電機連合 国際部長
	河野 香	JAM 組織・調査グループ 副グループ長*
	東條 義彦	基幹労連 事務局次長
	永井 浩	情報労連 組織局長
	佐藤 克彦	自治労 国際部長
	江藤 創平	日教組 国際部長
	杉浦 賢次	連合東京 副事務局長*

CSA第31回総会(2011年9月22日)以降に交代

*三瀬 明 JAM 組織・調査グループ 副グループ長

*近藤 泰志 連合東京 副事務局長

連帯の30年

2012年2月20日発行

発行者 アジア連帯委員会(CSA)

〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館14F

編集 CSA 30年史編集委員会

印刷 同栄印刷株式会社

東京都港区芝1丁目12番3号
